

平成28年度政策評価・施策評価基本票の 要 旨

平成28年5月

宮 城 県

目 次

ページ

1 趣 旨	1
2 政策評価・施策評価について	1
(1) 政策評価・施策評価を行う目的	1
(2) 「宮城の将来ビジョン」、 「宮城県震災復興計画」 及び 「宮城の将来 ビジョン・震災復興実施計画」 の体系と政策評価・施策評価との関係	1
(3) 政策評価・施策評価の対象及び方法等	3
(4) 政策評価・施策評価の流れ	4
3 政策評価・施策評価の評価状況について	5
(1) 「宮城の将来ビジョン」 及び 「将来ビジョン・震災復興実施計画」 の 体系における政策評価・施策評価の状況	5
①政策評価の状況	5
②施策評価の状況	6
(2) 「宮城県震災復興計画」 及び 「震災復興実施計画」 の体系における 政策評価・施策評価の状況	8
①政策評価の状況	8
②施策評価の状況	8
参考資料1 政策評価・施策評価 評価対象政策一覧	10
参考資料2 政策評価・施策評価 評価状況一覧表	11

平成28年度政策評価・施策評価基本票の要旨

～平成27年度の政策、施策及び事業について～

1 趣旨

県では、平成14年度から行政活動の評価に関する条例（平成13年宮城県条例第70号。以下「条例」という。）に基づいて政策評価・施策評価を実施しています。この書面は、条例第5条第2項に基づき、県が平成27年度の政策、施策及び事業を対象に、平成28年度に実施した政策評価・施策評価に係る基本票（県の自己評価原案）の内容を県民の皆さまにわかりやすく説明するために作成したものです。

2 政策評価・施策評価について

（1）政策評価・施策評価を行う目的

①政策決定に必要な情報を提供します

県は、政策、施策及び事業の効果を把握しながら、“宮城の将来像として望ましい社会”を実現するという目標に照らして客観的な評価を行い、政策判断に必要な情報を提供します。

②効果的・効率的で質の高い行政を行います

県は、政策、施策及び事業に対する評価の結果をもとに、課題を検証し、今後の政策・施策の展開のあり方を検討して改善を図るなど、行政運営に適切に反映することにより効果的・効率的で質の高い行政を行います。

③県民への説明責任を果たし透明性を向上させます

県は、政策、施策及び事業の評価に関する様々な情報を随時公表し、県民の皆さまに対する説明責任を果たしながら、行政の透明性の向上を図ります。

（2）「宮城の将来ビジョン」、 「宮城県震災復興計画」 及び「宮城の将来ビジョン・震災復興実施計画」の体系と政策評価・施策評価との関係

県では、平成19年3月、県政運営の理念として「富県共創！活力とやすらぎの邦づくり」を掲げる「宮城の将来ビジョン」を策定し、「富県宮城の実現～県内総生産10兆円への挑戦～」・「安心と活力に満ちた地域社会づくり」・「人と自然が調和した美しく安全な県土づくり」の3つの政策推進の基本方向に沿った取り組みを進めてきたところです。

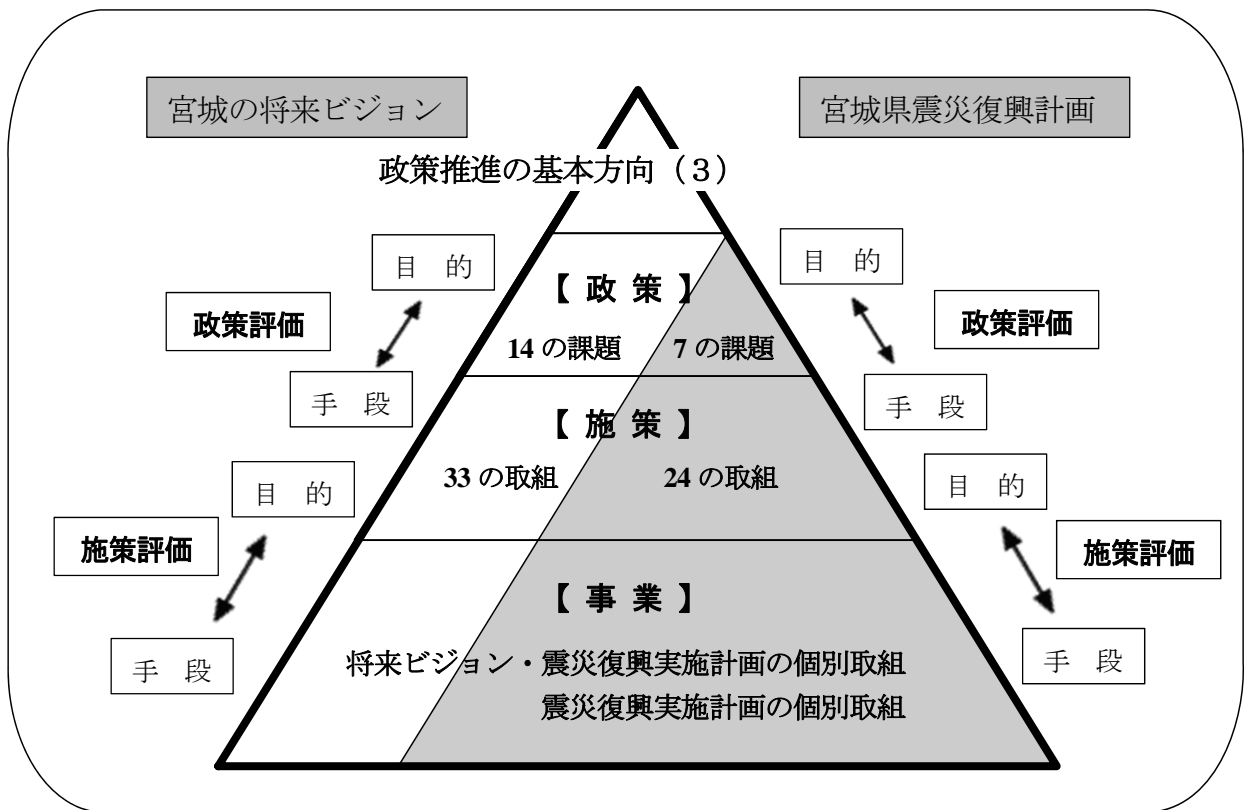
また、平成23年3月11日に発生した東日本大震災からの今後10年間における復興の道筋を示すため、平成23年10月に「宮城県震災復興計画」を策定し、宮城の将来ビジョンの政策・施策と一体的に推進しているところです。

平成26年3月には、宮城県震災復興計画における再生期を迎えるに当たり、復旧・復興の進捗や社会経済情勢の動きなどを踏まえ、宮城県震災復興計画に基づき震災からの復興を迅速かつ着実に進めながら、宮城の将来ビジョンに掲げる将来像の実現に向けた各年度の行財政運営を着実に推進するための中期的な実施計画として、「宮城の将来ビジョン・震災復興実施計画」（再生期：平成26年度～29年度）を策定しました。

宮城の将来ビジョン及び将来ビジョン・震災復興実施計画では、3つの政策推進の基本方向を細分化した14の「課題」、宮城の未来をつくる33の「取組」及び目標達成のための「個別取組」からなる体系を定めています。また、宮城県震災復興計画及び震災復興実施計画では、宮城県震災復興計画で示した分野別の復興の方向性における7分野ごとの「課題」、復興を推進するための24の「取組」及び目標達成のための「個別取組」からなる体系を定めています。

なお、政策評価・施策評価においては、それぞれの体系における「課題」を「政策」、「取組」を「施策」、「個別取組」を「事業」として整理し、評価を行っています。

■ 「宮城の将来ビジョン」「宮城県震災復興計画」及び「宮城の将来ビジョン・震災復興実施計画」の体系と政策評価・施策評価の関係



(3) 政策評価・施策評価の対象及び方法等

政策評価・施策評価は、政策、施策及び事業について、それらの全体の体系や相互の関係（各々の目的・手段の関係）を踏まえて包括的に評価を行うものであることから、政策評価と施策評価は一連のものとして行います。

政策評価は、政策を構成する各施策の成果の状況や課題等を総括し、大きな視点から県政の状況を把握するものです。

施策評価は、施策に設定された目標指標等（長期的な目標を定量的又は定性的に示す方法により設定した指標）の達成状況や施策を構成する各事業の状況などから、前年度の県の施策の成果を評価し、その課題を検証して次年度の対応方針を示すものです。また、事業の有効性等について分析し、事業の質の向上を図ります。

平成28年度政策評価・施策評価では、宮城の将来ビジョン、宮城県震災復興計画及び宮城の将来ビジョン・震災復興実施計画（再生期：平成26年度～29年度）をもとに、平成27年度に実施した政策、施策及び事業について評価を行いました。

① 評価の対象及び評価項目

	政策評価	施策評価
評価対象	「宮城の将来ビジョン」、「宮城県震災復興計画」及び「宮城の将来ビジョン・震災復興実施計画」で定めた政策及び施策	「宮城の将来ビジョン」、「宮城県震災復興計画」及び「宮城の将来ビジョン・震災復興実施計画」で定めた施策及び事業
評価項目	○政策の成果 ○政策を推進する上での課題と対応方針	○施策の成果 ○施策を推進する上での課題と対応方針
評価基準	○施策の成果等	○目標指標等の達成状況 ○県民意識 ○社会経済情勢等 ○事業の実績及び成果

② 政策評価・施策評価の実施方法

県の各担当部局が、それぞれ担当する政策、施策及び事業について評価します。

その際には、評価の客観性を確保するため、有識者で構成する宮城県行政評価委員会の意見を聴き、評価に反映します。また、広く県民からも意見を聴き、評価に反映する仕組みとなっています。

(4) 政策評価・施策評価の流れ

①政策評価・施策評価基本票（県の評価原案）の作成 【フロー図1, 2】

県は、政策評価シート、施策評価シート等からなる基本票を作成して、政策・施策を自ら評価します。

②宮城県行政評価委員会などからの意見聴取 【フロー図3～7】

上記①の県による評価の客観性を確保し、評価過程の透明性を高めるため、自ら評価した内容について、県民意見聴取を行うほか、宮城県行政評価委員会の意見を聴き、その意見を評価結果に適切に反映させることとしています。

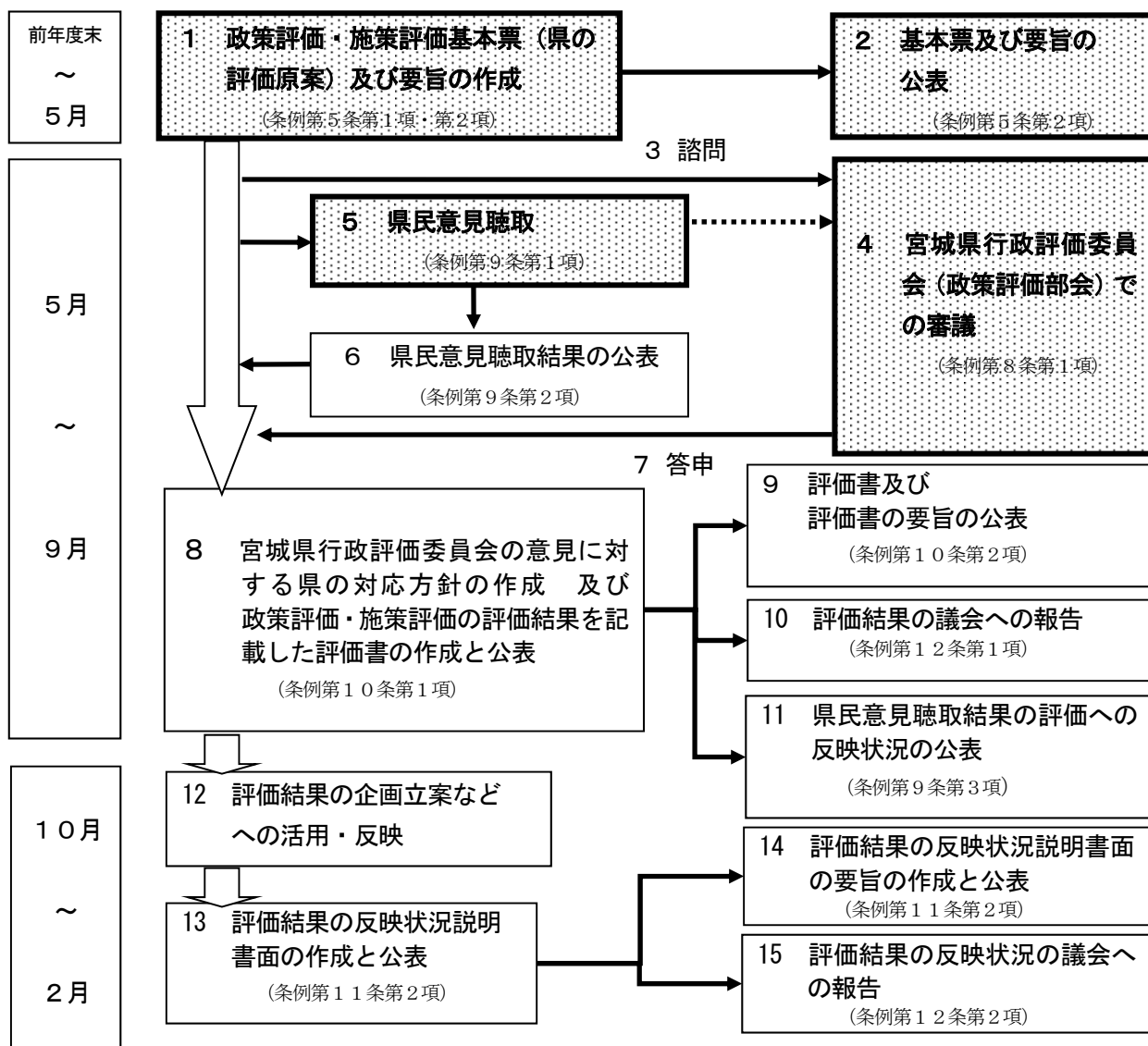
③県の対応方針と評価書の作成 【フロー図8～11】

その後、上記委員会の意見に対する県の対応方針と、それを踏まえた最終的な評価結果を記載した「評価書」を作成して公表するとともに、県議会に報告することとしています。

④反映状況を説明する書面の作成 【フロー図12～15】

評価結果については、翌年度の政策、施策及び事業に関する企画立案や予算編成並びに組織運営方針を決定する際の情報として活用し、適切に反映させることとしています。反映状況を説明する書面は公表するとともに、県議会に報告することとしています。

《 フロー図 》



3 政策評価・施策評価の評価状況について

(1) 「宮城の将来ビジョン」及び「将来ビジョン・震災復興実施計画」の体系における政策評価・施策評価の状況

①政策評価の状況

政策評価では、宮城の将来ビジョン及び将来ビジョン・震災復興実施計画で定めた政策と政策を構成する施策について、各担当部局において政策評価シート（評価原案）を作成しました。

政策評価シートでは、政策を構成する施策の成果等から、政策の成果を評価し、政策を推進する上での課題と対応方針をまとめました。

【政策評価「政策の成果」に係る評価の区分】	
順調	政策を構成する施策の必要性、有効性、効率性を考慮し、施策の成果等から見て、政策の成果が十分にあり、進捗状況が順調であると判断されるもの。
概ね順調	政策を構成する施策の必要性、有効性、効率性を考慮し、施策の成果等から見て、政策の成果がある程度あり、進捗状況が概ね順調であると判断されるもの。
やや遅れている	政策を構成する施策の必要性、有効性、効率性を考慮し、施策の成果等から見て、政策の成果があまりなく、進捗状況がやや遅れていると判断されるもの。
遅れている	政策を構成する施策の必要性、有効性、効率性を考慮し、施策の成果等から見て、政策の成果がなく、進捗状況が遅れていると判断されるもの。

評価の状況は次のとおりです。

「概ね順調」と評価した政策は9政策、「やや遅れている」と評価した政策は5政策で、「順調」及び「遅れている」と評価した政策はありませんでした。

昨年度の評価結果から、概ね順調が1政策増加し、やや遅れているが1政策減少しました。

政策評価（総括） （政策の成果）	順調	概ね順調	やや遅れている	遅れている	計
政策数	0 (0.0%)	9 (64.3%)	5 (35.7%)	0 (0.0%)	14
政策推進の基本方向別内訳					
富県宮城の実現～県内総生産10兆円への挑戦～	0	3	2	0	5
安心と活力に満ちた地域社会づくり	0	3	2	0	5
人と自然が調和した美しく安全な県土づくり	0	3	1	0	4
参考 平成27年度評価結果	0	8	6	0	14

なお、各政策評価の状況は、参考資料2（後掲）の「政策評価・施策評価 評価状況一覧表」中、「政策の成果」の欄を御覧ください。

【参考1】「やや遅れている」と評価した政策		
富県宮城の実現 ～県内総生産10兆円への挑戦～	政策番号2	観光資源、知的資産を活用した商業・サービス産業の強化
	政策番号4	アジアに開かれた広域経済圏の形成
安心と活力に満ちた地域社会づくり	政策番号6	子どもを生き育てやすい環境づくり
	政策番号7	将来の宮城を担う子どもの教育環境づくり
人と自然が調和した美しく安全な県土づくり	政策番号12	豊かな自然環境、生活環境の保全

②施策評価の状況

施策評価では、宮城の将来ビジョン及び将来ビジョン・震災復興実施計画で定めた施策と施策を構成する事業について、各担当部局において施策評価シート（評価原案）を作成しました。

施策評価シートでは、目標指標等の達成状況、県民意識、社会経済情勢、事業の実績及び成果等から施策の成果を評価し、施策を推進する上での課題と対応方針をまとめました。

【施策評価「施策の成果」に係る評価の区分】	
順調	: 施策を構成する事業の必要性、有効性、効率性を考慮し、目標指標等の達成状況、県民意識、社会経済情勢、事業の実績及び成果等から見て、施策の成果が十分にあり、進捗状況が順調であると判断されるもの。
概ね順調	: 施策を構成する事業の必要性、有効性、効率性を考慮し、目標指標等の達成状況、県民意識、社会経済情勢、事業の実績及び成果等から見て、施策の成果がある程度あり、進捗状況が概ね順調であると判断されるもの。
やや遅れている	: 施策を構成する事業の必要性、有効性、効率性を考慮し、目標指標等の達成状況、県民意識、社会経済情勢、事業の実績及び成果等から見て、施策の成果があまりなく、進捗状況がやや遅れていると判断されるもの。
遅れている	: 施策を構成する事業の必要性、有効性、効率性を考慮し、目標指標等の達成状況、県民意識、社会経済情勢、事業の実績及び成果等から見て、施策の成果がなく、進捗状況が遅れていると判断されるもの。

評価の状況は、次のとおりです。

「順調」と評価した施策は1施策、「概ね順調」と評価した施策は17施策、「やや遅れている」と評価した施策は15施策で、「遅れている」と評価した施策はありませんでした。

昨年度の評価結果から、概ね順調が1施策減少し、やや遅れているが1施策増加しました。

施策評価（総括） （施策の成果）	順調	概ね順調	やや遅れている	遅れている	計
施策数	1 (3.0%)	17 (51.5%)	15 (45.5%)	0 (0.0%)	33
政策推進の基本方向別内訳					
富県宮城の実現～県内総生産10兆円への挑戦～	0	6	6	0	12
安心と活力に満ちた地域社会づくり	1	7	6	0	14
人と自然が調和した美しく安全な県土づくり	0	4	3	0	7
参考 平成27年度評価結果	1	18	14	0	33

なお、各施策評価の状況は、参考資料2（後掲）の「政策評価・施策評価 評価状況一覧表」中、「施策の成果」の欄を御覧ください。

【参考2】「順調」と評価した施策			
安心と活力に満ちた地域社会づくり	政策番号10	施策25	安全で安心なまちづくり

【参考3】「やや遅れている」と評価した施策				
富県宮城の実現～県内総生産10兆円への挑戦～	政策番号1	施策3	豊かな農林水産資源と結びついた食品製造業の振興	
	政策番号2	施策4	高付加価値型サービス産業・情報産業及び地域商業の振興	
		施策5	地域が潤う、訪れてよしの観光王国みやぎの実現	
	政策番号3	施策7	地産地消や食育を通じた需要の創出と食の安全安心の確保	
	政策番号4	施策8	県内企業のグローバルビジネスの推進と外資系企業の立地促進	
		施策9	自律的に発展できる経済システム構築に向けた広域経済圏の形成	
	安心と活力に満ちた地域社会づくり	政策番号6	施策13	次代を担う子どもを安心して生み育てることができる環境づくり
			施策14	家庭・地域・学校の協働による子どもの健全な育成
		政策番号7	施策15	着実な学力向上と希望する進路の実現
施策16			豊かな心と健やかな体の育成	
政策番号8		施策22	障害があっても安心して生活できる地域社会の実現	
		施策23	生涯学習社会の確立とスポーツ・文化芸術の振興	
人と自然が調和した美しく安全な県土づくり	政策番号11	施策28	廃棄物等の3R（発生抑制・再使用・再生利用）と適正処理の推進	
	政策番号12	施策29	豊かな自然環境、生活環境の保全	
	政策番号14	施策31	宮城県沖地震に備えた施設整備や情報ネットワークの充実	

(2) 「宮城県震災復興計画」及び「震災復興実施計画」の体系における政策評価・施策評価の状況

①政策評価の状況

政策評価では、宮城県震災復興計画及び震災復興実施計画で定めた政策と政策を構成する施策について、各担当部局において政策評価シート（評価原案）を作成しました。

政策評価シートでは、政策を構成する施策の成果等から、政策の成果を評価し、政策を推進する上での課題と対応方針をまとめました。

評価の状況は次のとおりです。

「概ね順調」と評価した政策は6政策、「やや遅れている」と評価した政策は1政策で、「順調」及び「遅れている」と評価した政策はありませんでした。

昨年度の評価結果から、増減はありませんでした。

政策評価（総括） （政策の成果）	順調	概ね順調	やや遅れている	遅れている	計
政策数	0 (0.0%)	6 (85.7%)	1 (14.3%)	0 (0.0%)	7
参考 平成27年度評価結果	0	6	1	0	7

※評価の区分については、宮城の将来ビジョン及び将来ビジョン・震災復興実施計画の体系における政策評価「政策の成果」に係る評価の区分と同じ。

なお、各政策評価の状況は、参考資料2（後掲）の「政策評価・施策評価 評価状況一覧表」中、「政策の成果」の欄を御覧ください。

【参考4】「やや遅れている」と評価した政策		
環境・生活・衛生・廃棄物の分野	政策番号1	被災者の生活再建と生活環境の確保

②施策評価の状況

施策評価では、宮城県震災復興計画及び震災復興実施計画で定めた施策と施策を構成する事業について、各担当部局において施策評価シート（評価原案）を作成しました。

施策評価シートでは、目標指標等の達成状況、県民意識、社会経済情勢、事業の実績及び成果等から施策の成果を評価し、施策を推進する上での課題と対応方針をまとめました。

評価の状況は、次のとおりです。

「順調」と評価した施策は1施策、「概ね順調」と評価した施策は17施策、「やや遅れている」と評価した施策は5施策で、「遅れている」と評価した施策はありませんでした。

昨年度の評価結果から、順調が1施策増加、概ね順調が3施策減少し、やや遅れているが2施策増加しました。

施策評価（総括） （施策の成果）	順調	概ね順調	やや 遅れている	遅れている	計
施策数	1 (4.3%)	17 (73.9%)	5 (21.7%)	0 (0.0%)	23

参考 平成27年度評価結果	0	20	3	0	23
---------------	---	----	---	---	----

※評価の区分については、宮城の将来ビジョン及び将来ビジョン・震災復興実施計画の体系における施策評価「施策の成果」に係る評価の区分と同じ。

※施策「廃棄物の適正処理」については、復旧期で処理が完了。

なお、各施策評価の状況は、参考資料2（後掲）の「政策評価・施策評価 評価状況一覧表」中、「施策の成果」の欄を御覧ください。

【参考5】「順調」と評価した施策			
公共土木施設の分野	政策番号5	施策3	上下水道などのライフラインの整備

【参考6】「やや遅れている」と評価した施策			
環境・生活・衛生・廃棄物の分野	政策番号1	施策1	被災者の生活環境の確保
経済・商工・観光・雇用の分野	政策番号3	施策2	商業・観光の再生
農業・林業・水産業の分野	政策番号4	施策4	一次産業を牽引する食産業の振興
公共土木施設の分野	政策番号5	施策2	海岸、河川などの県土保全
防災・安全・安心の分野	政策番号7	施策2	大津波等への備え

参考資料 1

政策評価・施策評価 評価対象政策一覧

1. 宮城の将来ビジョンの体系の評価対象政策（14政策）

政策推進の基本方向1 富県宮城の実現～県内総生産10兆円への挑戦～

- | | | |
|------|---|----------------------------|
| 政策番号 | 1 | 育成・誘致による県内製造業の集積促進 |
| 政策番号 | 2 | 観光資源、知的資産を活用した商業・サービス産業の強化 |
| 政策番号 | 3 | 地域経済を支える農林水産業の競争力強化 |
| 政策番号 | 4 | アジアに開かれた広域経済圏の形成 |
| 政策番号 | 5 | 産業競争力の強化に向けた条件整備 |

政策推進の基本方向2 安心と活力に満ちた地域社会づくり

- | | | |
|------|----|---------------------------|
| 政策番号 | 6 | 子どもを生き育てやすい環境づくり |
| 政策番号 | 7 | 将来の宮城を担う子どもの教育環境づくり |
| 政策番号 | 8 | 生涯現役で安心して暮らせる社会の構築 |
| 政策番号 | 9 | コンパクトで機能的なまちづくりと地域生活の充実 |
| 政策番号 | 10 | だれもが安全に、尊重し合いながら暮らせる環境づくり |

政策推進の基本方向3 人と自然が調和した美しく安全な県土づくり

- | | | |
|------|----|--------------------------------|
| 政策番号 | 11 | 経済・社会の持続的発展と環境保全の両立 |
| 政策番号 | 12 | 豊かな自然環境、生活環境の保全 |
| 政策番号 | 13 | 住民参画型の社会資本整備や良好な景観の形成 |
| 政策番号 | 14 | 宮城県沖地震など大規模災害による被害を最小限にする県土づくり |

2. 宮城県震災復興計画の体系の評価対象政策（7政策）

- | | | | |
|------|---|-----------------------|-------------------|
| 政策番号 | 1 | 被災者の生活再建と生活環境の確保 | 【環境・生活・衛生・廃棄物の分野】 |
| 政策番号 | 2 | 保健・医療・福祉提供体制の回復 | 【保健・医療・福祉の分野】 |
| 政策番号 | 3 | 「富県宮城の実現」に向けた経済基盤の再構築 | 【経済・商工・観光・雇用の分野】 |
| 政策番号 | 4 | 農林水産業の早期復興 | 【農業・林業・水産業の分野】 |
| 政策番号 | 5 | 公共土木施設の早期復旧 | 【公共土木施設の分野】 |
| 政策番号 | 6 | 安心して学べる教育環境の確保 | 【教育の分野】 |
| 政策番号 | 7 | 防災機能・治安体制の回復 | 【防災・安全・安心の分野】 |

参考資料2 政策評価・施策評価 評価状況一覧表

1. 宮城の将来ビジョン及び将来ビジョン・震災復興実施計画の体系における政策評価・施策評価 評価状況一覧表【基本票(評価原案)】

政策番号	政策名	政策評価 (総括) 「政策の成果」 *()内は平成 27年度の評価 結果	施策番号	施策名	施策評価 (総括) 「施策の成果」 *()内は平成 27年度の評価 結果	【参 考】	
						目標指標等名	目標指標等の達成度
政策推進の基本方向1 富県宮城の実現 ～県内総生産10兆円への挑戦～							
1	育成・誘致による県内製造業の集積促進	概ね順調 (概ね順調)	1	地域経済を力強くけん引するものづくり産業(製造業)の振興	概ね順調 (概ね順調)	製造品出荷額等(食料品製造業を除く)	A
						製造品出荷額等(高度電子機械産業分)	A
						製造品出荷額等(自動車産業分)	B
						企業立地件数	C
						企業集積等による雇用機会の創出数	A
						産業技術総合センターによる技術改善支援件数	A
			2	産学官の連携による高度技術産業の集積促進	概ね順調 (概ね順調)	産学官連携数	A
						知的財産の支援(特許流通成約)件数	A
			3	豊かな農林水産資源と結びついた食品製造業の振興	やや遅れている (やや遅れている)	製造品出荷額等(食料品製造業)	B
						1事業所当たり租付加価値額(食料品製造業)	B
						企業立地件数(食品関連産業等)	A
2	観光資源、知的資産を活用した商業・サービス産業の強化	やや遅れている (やや遅れている)	4	高付加価値型サービス産業・情報産業及び地域商業の振興	やや遅れている (やや遅れている)	サービス業の付加価値額	A
						情報関連産業売上高	N
						企業立地件数(開発系IT企業(ソフトウェア開発企業))	C
			5	地域が潤う、訪れてよしの観光王国みやぎの実現	やや遅れている (やや遅れている)	観光客入込数	B
						観光消費額	C
						外国人観光客宿泊者数	B
						主要な都市農山漁村交流拠点施設の利用人口	A
3	地域経済を支える農林水産業の競争力強化	概ね順調 (やや遅れている)	6	競争力ある農林水産業への転換	概ね順調 (概ね順調)	農業産出額	B
						水田フル活用・生産調整地内の作付率	B
						飼料用米の作付面積	A
						園芸作物産出額	C
						アグリビジネス経営体数	B
						林業産出額	B
						優良みやぎ材の出荷量	B
						漁業生産額	A
						主要5漁港(気仙沼・志津川・女川・石巻・塩釜)における水揚げ金額	A
						水産加工品出荷額	B
			7	地産地消や食育を通じた需要の創出と食の安全安心の確保	やや遅れている (やや遅れている)	学校給食の地場産野菜などの利用品目数の割合	B
						県内木材需要に占める県産材シェア	B
						環境保全型農業取組面積	C
						みやぎ食の安全安心取組宣言者数	B
4	アジアに開かれた広域経済圏の形成	やや遅れている (やや遅れている)	8	県内企業のグローバルビジネスの推進と外資系企業の立地促進	やや遅れている (やや遅れている)	宮城県貿易額(県内港湾・空港の輸出入額)	B
						県の事業をきっかけとした海外企業等との年間成約件数	C
						企業誘致件数(進出外資系企業数)	C
			9	自律的に発展できる経済システム構築に向けた広域経済圏の形成	やや遅れている (やや遅れている)	全国平均と比較した東北地方の一人当たり県民所得の割合	N
						東北地方の転入超過数(他ブロックとの比較順位)	A
						東北地方の延べ宿泊者数(観光目的50%以上・従業員数10人以上の施設)	B
						東北地方の完成自動車の港湾取扱貨物量(移出入)	B

○「施策の成果」は、本表に掲載している目標指標等の達成状況のほか、県民意識、社会経済情勢、施策を構成する事業の実績及び成果等を踏まえて総合的に評価しています。

○目標指標等の達成度の区分 A:目標値を達成している(達成率100%以上) B:目標値を達成しておらず、達成率80%以上100%未満 C:目標値を達成しておらず、達成率80%未満 N:(判定不能)実績値が把握できない等の理由で、判定できない。

1. 宮城の将来ビジョン及び将来ビジョン・震災復興実施計画の体系における政策評価・施策評価 評価状況一覧表
【基本票(評価原案)】

政策番号	政策名	政策評価 (総括) 「政策の成果」 *()内は平成 27年度の評価 結果	施策番号	施策名	施策評価 (総括) 「施策の成果」 *()内は平成 27年度の評価 結果	【参 考】	
						目標指標等名	目標指標等の達成度
5	産業競争力の強化に向けた条件整備	概ね順調 (概ね順調)	10	産業活動の基礎となる人材の育成・確保	概ね順調 (概ね順調)	ライフステージに応じた基幹プログラムの推進数	A
						県が関与する高度人材養成事業の受講者数	A
						基幹産業関連公共職業訓練の修了者数	B
						県立高等学校生徒のインターンシップ実施校率	B
						第一次産業における新規就業者数	N
						創業や経営革新の支援件数	A
			11	経営力の向上と経営基盤の強化	概ね順調 (概ね順調)	農業経営改善計画の認定数(認定農業者数)	B
						集落営農数	A
						仙台塩釜港(仙台港区)のコンテナ貨物取扱量	B
			12	宮城の飛躍を支える産業基盤の整備	概ね順調 (概ね順調)	仙台塩釜港(仙台港区)の取扱貨物量(コンテナ貨物除き)	B
						仙台空港乗降客数	B
						仙台空港国際線乗降客数	C
高速道路のインターチェンジに40分以内で到達可能な人口の割合	B						

○「施策の成果」は、本表に掲載している目標指標等の達成状況のほか、県民意識、社会経済情勢、施策を構成する事業の実績及び成果等を踏まえて総合的に評価しています。

○目標指標等の達成度の区分 A:目標値を達成している(達成率100%以上) B:目標値を達成しておらず、達成率80%以上100%未満 C:目標値を達成しておらず、達成率80%未満 N:(判定不能)実績値が把握できない等の理由で、判定できない。

1. 宮城の将来ビジョン及び将来ビジョン・震災復興実施計画の体系における政策評価・施策評価 評価状況一覧表
【基本票(評価原案)】

政策番号	政策名	政策評価 (総括) 「政策の成果」 *()内は平成 27年度の評価 結果	施策番号	施策名	施策評価 (総括) 「施策の成果」 *()内は平成 27年度の評価 結果	【参 考】							
						目標指標等名	目標指標等の達成度						
政策推進の基本方向2 安心と活力に満ちた地域社会づくり													
6	子どもを生き育てやすい環境づくり	やや遅れている (やや遅れている)	13	次代を担う子どもを安心して生き育てることができる環境づくり	やや遅れている (やや遅れている)	合計特殊出生率	B						
						育児休業取得率(男性)	B						
						育児休業取得率(女性)	A						
						保育所入所待機児童数(仙台市を除く)	C						
			14	家庭・地域・学校の協働による子どもの健全な育成	やや遅れている (やや遅れている)	朝食を欠食する児童の割合(小学6年生)	C						
						学校教育を支援する「みやぎ教育応援団」の登録数(企業・団体)	B						
						学校教育を支援する「みやぎ教育応援団」の登録数(個人)	A						
7	将来の宮城を担う子どもの教育環境づくり	やや遅れている (概ね順調)	15	着実な学力向上と希望する進路の実現	やや遅れている (概ね順調)	児童生徒の家庭等での学習時間(小学6年生:30分以上の児童の割合)	A						
						児童生徒の家庭等での学習時間(中学3年生:1時間以上の生徒の割合)	B						
						児童生徒の家庭等での学習時間(高校2年生:2時間以上の生徒の割合)	C						
						「授業が分かる」と答える児童生徒の割合(小学6年生)	B						
						「授業が分かる」と答える児童生徒の割合(中学3年生)	B						
						「授業が分かる」と答える児童生徒の割合(高校2年生)	B						
						全国平均正答率とのかい離(小学6年生)	C						
						全国平均正答率とのかい離(中学3年生)	C						
						大学等への現役進学達成率の全国平均値とのかい離	B						
						新規高卒者の就職決定率の全国平均値とのかい離	A						
						体験活動やインターンシップの実施校率(小学校での農林漁業体験)	B						
						体験活動やインターンシップの実施校率(中学校での職場体験)	A						
						体験活動やインターンシップの実施校率(高等学校でのインターンシップ体験)	B						
						県立高校における無線LAN整備率	A						
									16	豊かな心と健やかな体の育成	やや遅れている (やや遅れている)	不登校児童生徒の在籍比率(小学校)	C
								不登校児童生徒の在籍比率(中学校)				C	
								不登校児童生徒の在籍比率(高等学校)				C	
								不登校児童生徒の再登校率(小・中)				B	
												児童生徒の体力・運動能力調査における体力合計点の全国平均値とのかい離(小学5年生(男))	C
												児童生徒の体力・運動能力調査における体力合計点の全国平均値とのかい離(小学5年生(女))	C
						児童生徒の体力・運動能力調査における体力合計点の全国平均値とのかい離(中学2年生(男))	C						
						児童生徒の体力・運動能力調査における体力合計点の全国平均値とのかい離(中学2年生(女))	C						
			17	児童生徒や地域のニーズに応じた特色ある教育環境づくり	概ね順調 (概ね順調)	外部評価を実施する学校の割合(小学校)	A						
		外部評価を実施する学校の割合(中学校)				A							
		外部評価を実施する学校の割合(高等学校)				A							
		学校外の教育資源を活用している高校の割合				A							
						特別支援学校の児童生徒が居住地の小・中学校の児童生徒と交流及び共同学習した割合	B						

○「施策の成果」は、本表に掲載している目標指標等の達成状況のほか、県民意識、社会経済情勢、施策を構成する事業の実績及び成果等を踏まえて総合的に評価しています。

○目標指標等の達成度の区分 A:目標値を達成している(達成率100%以上) B:目標値を達成しておらず、達成率80%以上100%未満 C:目標値を達成しておらず、達成率80%未満 N:(判定不能)実績値が把握できない等の理由で、判定できない。

1. 宮城の将来ビジョン及び将来ビジョン・震災復興実施計画の体系における政策評価・施策評価 評価状況一覧表
【基本票(評価原案)】

政策番号	政策名	政策評価 (総括) 「政策の成果」 *()内は平成 27年度の評価 結果	施策番号	施策名	施策評価 (総括) 「施策の成果」 *()内は平成 27年度の評価 結果	【参考】		
						目標指標等名	目標指標等の達成度	
8	生涯現役で安心して暮らせる社会の構築	概ね順調 (概ね順調)	18	多様な就業機会や就業環境の創出	概ね順調 (概ね順調)	基金事業における新規雇用者数	A	
						正規雇用者数	A	
						高齢者雇用率	A	
						新規高卒者の就職内定率	B	
						ジョブカフェ利用者(併設の仙台学生職業センターを含む)の就職者数	A	
						障害者雇用率	B	
						介護職員数	N	
			第一次産業における新規就業者数	N				
			19	安心できる地域医療の充実	概ね順調 (概ね順調)	県の施策による自治体病院等(県立病院を除く)への医師配置数	A	
							病院収容時間	C
							病院及び介護サービス施設、事業所に従事するリハビリテーション専門職(理学療法士・作業療法士・言語聴覚士)の数	A
							新規看護職員充足率	A
			20	生涯を豊かに暮らすための健康づくり	概ね順調 (概ね順調)	健康寿命(要介護2以上の認定者数をもとに算定したもの)(男性)	A	
						健康寿命(要介護2以上の認定者数をもとに算定したもの)(女性)	B	
3歳児のむし歯のない人の割合	B							
自殺死亡率(人口10万対)	A							
21	高齢者が元気に安心して暮らせる環境づくり	概ね順調 (概ね順調)	認知症サポーター数	A				
			主任介護支援専門員数	B				
			介護予防支援指導者数	B				
			特別養護老人ホーム入所定員数	B				
			介護職員数	N				
22	障害があっても安心して生活できる地域社会の実現	やや遅れている (やや遅れている)	就労継続支援B型事業所における工賃の平均月額	B				
			グループホーム利用者数	B				
			入院中の精神障害者の地域生活への移行(入院後3ヶ月時点退院率)	A				
			入院中の精神障害者の地域生活への移行(入院後1年時点退院率)	A				
			「だれもが住みよい福祉のまちづくり条例」に基づく適合証の交付割合	B				
			公立図書館等における県民一人当たりの図書資料貸出数	B				
			みやぎ県民大学講座における受講率	B				
23	生涯学習社会の確立とスポーツ・文化芸術の振興	やや遅れている (概ね順調)	総合型地域スポーツクラブの市町村における育成率	C				
			みやぎ県民文化創造の祭典参加者数	B				
9	コンパクトで機能的なまちづくりと地域生活の充実	概ね順調 (やや遅れている)	24	コンパクトで機能的なまちづくりと地域生活の充実	概ね順調 (やや遅れている)	新商店街再生加速化計画策定数	A	
						1人当たり年間公共交通機関利用回数	A	
10	だれもが安全に、尊重し合いながら暮らせる環境づくり	概ね順調 (概ね順調)	25	安全で安心なまちづくり	順調 (順調)	刑法犯認知件数	A	
						県内各市町村における「安全・安心まちづくり」に関する条例策定数	A	
			26	外国人も活躍できる地域づくり	概ね順調 (概ね順調)	市町村における安全・安心まちづくりに関する推進組織の設置状況数	A	
						多言語による生活情報の提供実施市町村数	A	
						外国人相談対応の体制を整備している市町村数	A	
						日本語講座開設数	C	

○「施策の成果」は、本表に掲載している目標指標等の達成状況のほか、県民意識、社会経済情勢、施策を構成する事業の実績及び成果等を踏まえて総合的に評価しています。

○目標指標等の達成度の区分 A:目標値を達成している(達成率100%以上) B:目標値を達成しておらず、達成率80%以上100%未満 C:目標値を達成しておらず、達成率80%未満 N:(判定不能)実績値が把握できない等の理由で、判定できない。

1. 宮城の将来ビジョン及び将来ビジョン・震災復興実施計画の体系における政策評価・施策評価 評価状況一覧表
【基本票(評価原案)】

政策番号	政策名	政策評価 (総括) 「政策の成果」 *()内は平成 27年度の評価 結果	施策番号	施策名	施策評価 (総括) 「施策の成果」 *()内は平成 27年度の評価 結果	【参 考】	
						目標指標等名	目標指標等の達成度
政策推進の基本方向3 人と自然が調和した美しく安全な県土づくり							
11	経済・社会の持続的発展と環境保全の両立	概ね順調 (概ね順調)	27	環境に配慮した社会経済システムの構築と地球環境保全への貢献	概ね順調 (概ね順調)	再生可能エネルギー等の導入量(熱量換算)	A
						みやぎ環境税を活用した県及び市町村事業による二酸化炭素削減量	B
						太陽光発電システムの導出力数	A
						グリーンエネルギー自動車の導入台数	N
						間伐による二酸化炭素吸収量(民有林)	C
			28	廃棄物等の3R(発生抑制・再利用・再生利用)と適正処理の推進	やや遅れている (やや遅れている)	県民一人一日当たりの一般廃棄物排出量	C
		一般廃棄物リサイクル率				B	
		産業廃棄物排出量				B	
						産業廃棄物リサイクル率	A
12	豊かな自然環境、生活環境の保全	やや遅れている (やや遅れている)	29	豊かな自然環境、生活環境の保全	やや遅れている (やや遅れている)	豊かな自然環境の保護・保全を目的とした指定地域の県土面積に占める割合	A
						地域や学校教育と連携した農村環境保全等の協働活動に参加した人数	A
						松くい虫被害による枯損木量	C
						沿道における浮遊粒子状物質の環境基準達成率(黄砂等の影響を受けた時間帯を除く。)	A
13	住民参画型の社会資本整備や良好な景観の形成	概ね順調 (概ね順調)	30	住民参画型の社会資本整備や良好な景観の形成	概ね順調 (概ね順調)	アドブプログラム認定団体数	A
						農村の地域資源の保全活動を行った面積	B
						景観行政に主体的に取り組んでいる市町村数	A
14	宮城県沖地震など大規模災害による被害を最小限にする県土づくり	概ね順調 (概ね順調)	31	宮城県沖地震に備えた施設整備や情報ネットワークの充実	やや遅れている (やや遅れている)	主要幹線道路等の橋梁の耐震化完了数	C
						多数の者が利用する特定建築物の耐震化率	A
			32	洪水や土砂災害などの大規模自然災害対策の推進	概ね順調 (概ね順調)	要改修区間延長に対し時間雨量40mm相当の降雨により想定される水害を防止できる河川区間延長の増加率	A
						土砂災害危険箇所におけるハード対策実施箇所数	B
					土砂災害危険箇所におけるソフト対策実施箇所数	A	
						土砂災害から守られる住宅戸数	B
			33	地域ぐるみの防災体制の充実	概ね順調 (概ね順調)	防災リーダー(宮城県防災指導員等)養成者数	B
		自主防災組織の組織率				B	

○「施策の成果」は、本表に掲載している目標指標等の達成状況のほか、県民意識、社会経済情勢、施策を構成する事業の実績及び成果等を踏まえて総合的に評価しています。

○目標指標等の達成度の区分 A:目標値を達成している(達成率100%以上) B:目標値を達成しておらず、達成率80%以上100%未満 C:目標値を達成しておらず、達成率80%未満 N:(判定不能)実績値が把握できない等の理由で、判定できない。

2. 宮城県震災復興計画及び震災復興実施計画の体系における政策評価・施策評価 評価状況一覧表
【基本票(評価原案)】

政策番号	政策名	政策評価 (総括) 「政策の成果」 *()内は平成 27年度の評価 結果	施策番号	施策名	施策評価 (総括) 「施策の成果」 *()内は平成 27年度の評価 結果	【参 考】		
						目標指標等名	目標指標等の達成度	県民意識調査結果
1	【環境・生活・衛生・廃棄物の分野】 被災者の生活再建と生活環境の確保	やや遅れている (やや遅れている)	1	被災者の生活環境の確保	やや遅れている (やや遅れている)	災害公営住宅の整備戸数	B	III
			2	廃棄物の適正処理	— (—)	被災地におけるコミュニティ再構築活動を行う団体への助成件数	A	
			3	持続可能な社会と環境保全の実現	概ね順調 (概ね順調)	再生可能エネルギー等の導入量(熱量換算) 太陽光発電システムの導入出力数	A A	III
2	【保健・医療・福祉の分野】 保健・医療・福祉提供体制の回復	概ね順調 (概ね順調)	1	安心できる地域医療の確保	概ね順調 (概ね順調)	被災した病院、有床診療所の復旧箇所数 災害拠点病院の耐震化完了数 県の施策による地域医療連携システムへの接続施設数	B C B	II
			2	未来を担う子どもたちへの支援	概ね順調 (概ね順調)	被災した保育所の復旧箇所数 被災した児童館及び児童センターの復旧箇所数	B B	II
			3	だれもが住みよい地域社会の構築	概ね順調 (概ね順調)	被災した高齢者福祉施設の復旧箇所数 被災した障害者福祉施設の復旧箇所数	A B	II
3	【経済・商工・観光・雇用の分野】 「富県宮城の実現」に向けた経済基盤の再構築	概ね順調 (概ね順調)	1	ものづくり産業の復興	概ね順調 (概ね順調)	津波・原子力災害被災地域雇用創出企業立地補助金の採択企業数 復興に向けた相談助言や取引拡大・販路開拓等の支援企業数	A A	III
			2	商業・観光の再生	やや遅れている (概ね順調)	仮設店舗から本設店舗への事業者移行率 観光客入込数	C B	III
			3	雇用の維持・確保	概ね順調 (概ね順調)	基金事業における新規雇用者数(震災後) 正規雇用者数 新規高卒者の就職内定率	A A B	III
4	【農業・林業・水産業の分野】 農林水産業の早期復興	概ね順調 (概ね順調)	1	魅力ある農業・農村の再興	概ね順調 (概ね順調)	津波被災農地の復旧面積 津波被災地域における農地復興整備面積 被災地域における先進的園芸経営体(法人)数 高能力繁殖雌牛導入・保留頭数 効率的・安定的農業経営を営む担い手への農地利用集積率	B B B A C	III
			2	活力ある林業の再生	概ね順調 (概ね順調)	被災した木材加工施設における製品出荷額 優良みやぎ材の出荷量 海岸防災林(民有林)復旧面積 被災地域における木質バイオマス活用量	A B A A	II
			3	新たな水産業の創造	概ね順調 (概ね順調)	主要5漁港(気仙沼・志津川・女川・石巻・塩釜)における水揚げ金額 水産加工品出荷額 沿岸漁業新規就業者数	A B A	II
			4	一次産業を牽引する食産業の振興	やや遅れている (やや遅れている)	製造品出荷額等(食料品製造業)	B	II

○「施策の成果」は、本表に掲載している目標指標等の達成状況のほか、県民意識、社会経済情勢、施策を構成する事業の実績及び成果等を踏まえて総合的に評価しています。

○目標指標等の達成度の区分 A: 目標値を達成している(達成率100%以上) B: 目標値を達成しておらず、達成率80%以上100%未満 C: 目標値を達成しておらず、達成率80%未満 N:(判定不能)実績値が把握できない等の理由で、判定できない。

○県民意識調査の満足群・不満群の割合による区分 I: 満足群の割合40%以上かつ不満群の割合20%未満 II: 「I」及び「III」以外 III: 満足群の割合40%未満かつ不満群の割合20%以上

2. 宮城県震災復興計画及び震災復興実施計画の体系における政策評価・施策評価 評価状況一覧表
【基本票(評価原案)】

政策番号	政策名	政策評価 (総括) 「政策の成果」 *()内は平成 27年度の評価 結果	施策番号	施策名	施策評価 (総括) 「施策の成果」 *()内は平成 27年度の評価 結果	【参考】		
						目標指標等名	目標指標等の達成度	県民意識調査結果
5	【公共土木施設の分野】 公共土木施設の早期復旧	概ね順調 (概ね順調)	1	道路、港湾、空港などの交通 基盤の確保・整備促進	概ね順調 (概ね順調)	公共土木施設災害復旧事業(道路・橋 梁)の執行状況	B	II
						主要幹線道路等の橋梁の耐震化完了数	C	
						仙台塩釜港(仙台港区)のコンテナ貨物取 扱量	B	
			2	海岸、河川などの県土保全	やや 遅れている (やや遅れている)	比較的発生頻度の高い津波に対し、施設 の防護機能が確保された海岸数 比較的発生頻度の高い津波に対し、施設 の防護機能が確保された河川数	C N	III
			3	上下水道などのライフライン の整備	順調 (概ね順調)	緊急時バックアップ用の広域水道連絡管 整備事業の進捗率	A	I
			4	沿岸市町をはじめとするまち の再構築	概ね順調 (概ね順調)	防災公園事業の着手数 住宅等建築が可能となった被災市街地復 興土地区画整理事業地区数 住宅等建築が可能となった防災集団移転 促進事業地区数	B B B	III
6	【教育の分野】 安心して学べる教育環境の確保	概ね順調 (概ね順調)	1	安全・安心な学校教育の確保	概ね順調 (概ね順調)	災害復旧工事が完了した県立学校数 スクールカウンセラーの配置率(市町村 教育委員会・公立中学校・県立高等学 校)	B A	II
						防災に関する校内職員研修の実施率	A	
			2	家庭・地域の教育力の再構築	概ね順調 (概ね順調)	家庭教育に関する研修会への参加延べ 人数 地域と連携した取組が学校安全計画に位 置づけられている学校の割合	A A	II
			3	生涯学習・文化・スポーツ活 動の充実	概ね順調 (概ね順調)	災害復旧工事が完了した県立社会教育 施設・社会体育施設数 被災文化財(国・県・市町村指定)の修 理・修復事業完了件数	A A	II
7	【防災・安全・安心の分野】 防災機能・治安体制の回復	概ね順調 (概ね順調)	1	防災機能の再構築	概ね順調 (概ね順調)	デジタル化する衛星系無線設備数 災害拠点病院の耐震化完了数	A C	II
						沿岸部の津波避難計画作成市町数	C	I
			3	自助・共助による市民レベル の防災体制の強化	概ね順調 (概ね順調)	防災リーダー(宮城県防災指導員等)養 成者数	B	II
			4	安全・安心な地域社会の構築	概ね順調 (概ね順調)	刑法犯認知件数	A	II

○「施策の成果」は、本表に掲載している目標指標等の達成状況のほか、県民意識、社会経済情勢、施策を構成する事業の実績及び成果等を踏まえて総合的に評価しています。

○目標指標等の達成度の区分 A: 目標値を達成している(達成率100%以上) B: 目標値を達成しておらず、達成率80%以上100%未満 C: 目標値を達成しておらず、達成率80%未満 N:(判定不能)実績値が把握できない等の理由で、判定できない。

○県民意識調査の満足群・不満群の割合による区分 I: 満足群の割合40%以上かつ不満群の割合20%未満 II: 「I」及び「III」以外 III: 満足群の割合40%未満かつ不満群の割合20%以上